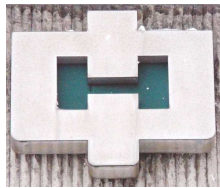


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ  
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成30年 3月16日(金) 第27号

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

## 受け継がれる感動の卒業式 ～ 信頼と感謝 ～

第71回卒業証書授与式が、春の訪れを感じる暖かい佳き日、13日(火)に挙行されました。

卒業証書授与では、3年担任の土屋先生の呼名に対し、全員が元気よく返事で応えました。今年度はステージ上のよく見える位置で保護者の方を向いて(感謝の思いを込めて)堂々と返事をしました。そして、卒業生32名一人一人に卒業証書を手渡しました。しっかりアイコンタクトをして、「おめでとう」の言葉を添えて渡しました。証書を受け取る卒業生の表情はとても穏やかで、態度も立派でした。

式辞では、「創立70周年を祝い行事は大成功し、全校生徒で感動を共有できたこと、卒業生の明るさと元気が畑野中に広がり一体感を生んでいたこと、『スマイル畑中』を大きな原動力に次の節目に向けて黄金時代がさらにつながっていくものと確信したこと」等、お礼とお祝いを述べました。

また、在校生代表の送辞、卒業生代表の答辞は心に響きました。卒業生との思い出と感謝の思い、在校生や同級生との信頼、親や先生方への感謝の気持ちが素直に述べられました。これまでの深いかかわりが信頼を育み、太い絆となって大きな力となっていたことが分かります。

式後の卒業記念合唱では、全校合唱「旅立ちの日に」と卒業生合唱「未来へ」が披露され、このメンバーで歌う最高の歌声になりました。あれだけ明るい卒業生が涙を堪えきれず歌う姿はとても感動的でした。生徒会主催の見送りと最後の激励となる在校生と卒業生のエール交換も温かく、拍手が止みませんでした。

在校生の式の準備も後片付けも手際よく、一人一人が率先して動いており、良き先輩になるための自覚と行動を嬉しく思いました。卒業生のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



### 送 辞

在校生代表 中川

風薫る3月。春の訪れが感じられる季節となりました。32名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。今日がもうお別れの日だと思うと、寂しい思いで胸がいっぱいになり、先輩方との思い出が様々な蘇ります。



胸に希望と不安を抱いて入学した1年生の春。慣れない環境に戸惑う私たちを、皆さんは優しく迎え入れてくださいました。皆さんはとても頼もしく、学校生活すべてで常に私たちのお手本であり、目標でした。特にそう感じたのは、今年度の大きな行事であった創立70周年体育祭や文化祭での皆さんの活躍です。体育祭では、当日、緊張する1・2年生を笑顔で励まし、導いてくださいました。そして、どの競技にも真剣に

取り組み、団結する姿を見せてくださいました。また、文化祭では最高学年としての頼もしさと凛々しさが感じられる素晴らしい合唱を披露し、私たちに大きな感動を与えてくださいました。

部活動においても私たちは、毎日の練習を通し、共に協力し、努力することの大切さを教えていただきました。私はバドミントン部ですが、先輩方と出場した大会でメンバーの志気を高めるために歌った応援歌がとても好きでした。試合では、悔しい思いもありましたが、団結力においては畑野中学校が佐渡一であったと私は今も思っています。また、他の部においても、3年生が常に後輩をリードし、日々の練習や大会など、全力で活動していました。今では、先輩方と一緒に頑張った日々のことが、私たちにあって机上の勉強だけでは得ることのできない大切な「宝物」となっています。

今年度、私たちは生徒会スローガン「一心不乱」のもとで、「先輩」という一つの目標に向かい、努力

することができました。これも皆さんが引き継いできた畑野中学校の伝統や頑張りを私たちに示してくださったお陰です。

これから、新しいスタートラインに立たれる3年生の皆さん、今はきっと不安な気持ちがあることと思います。でも、楽しかったことばかりではなく、辛いこともあった3年間の道のりを着実に歩いてこられた先輩方です。これまで学んできたことを「糧」にきっと

これからも、必ず困難を乗り越えていくことができると私たちは信じています。

そして、私たちもこれまで築き上げられてきた畑野中学校の伝統をしっかりと受け継ぎ、努力していきます。これまで本当にありがとうございました。

最後に、卒業生の皆様のご活躍とご健康を心よりお祈りし、送辞といたします。

## 答 辞

卒業生代表 中村

例年がない豪雪の冬も終わり、春の暖かさが感じられるようになりました。今日は私たち卒業生32名のために、このような式典を催していただき、誠に有難うございます。



また、ご多用の中、ご出席くださいましたご来賓の皆様、校長先生を始めとする全ての先生方、並びに関係者の皆様に、卒業生一同心から御礼申し上げます。

今から5年前、私たち32名は真新しい畑野小学校で出逢い、2年の時を経てこの畑野中学校に入学しました。気の知れた仲間だったものの、入学当初は新しい生活への不安と幼さから、クラス内で衝突することが何度もありました。そんな時、先生方は一人一人の声に耳を傾け、解決への方法を共に考えてくださいました。また、私たちは部活動や行事で先輩と共に活動する中で、仲間とより良い関係をつくることの大切さを学ぶことができました。たくさん悩み、たくさん失敗しながら、32名で歩んできた3年間。どの出来事も私たちにとっては貴重な思い出ばかりです。

その中でも特に、今年度は創立70周年という節目の年に当たり、私たちは3年生として、そのことを意識しながら行事に取り組んできました。競技で勝ち負けはついてしまったものの、互いに尊重し合い、肩を寄せ合いながら感動を分かち合った体育祭。学年合唱や様々な作品でそれぞれの持ち味を發揮した文化祭。また、全校合唱で歌った「決意」という曲は、創立70周年を迎えた本校を象徴するような歌詞が綴られており、自然や地域社会を大切にしながら、私たちが更なる高みを目指すための気持ちを表現することができる曲でした。昨年よりもレベルが上がり、4つのパートが合わさるには時間が掛かりましたが、全校生徒の気持ちを1つにできたことで、綺麗な歌声を響かせることができました。その勢いは止まることなく、佐渡市音楽発表会では、「大とり」を鮮やかに飾り、全校生徒で大きな感動を共有することができました。

私たちは様々な場面を通して、努力したことでしか味わえない経験をし、仲間と力を合わせて成功させる素晴らしさを学びました。1・2年生の皆さん、振り返ればこれらの行事の成功は皆さんの協力とサポートがなければできなかったことです。皆さんがいてくれたことに本当に感謝しています。有難うございました。

来年度はいよいよ君たちの番です。2年生は最上級生です。3年生になると何もかもが早く過ぎていきます。そして、様々な場面で3年生がリーダーとして全校を引っ張っていかねばなりません。一日一日を大切に頑張ってください。1年生は2年生です。後輩に教えたり、先輩を支えたりする責任の重さは3年生に勝るとも劣らない大きさです。私たちを支えてくれた皆さんならきっと大丈夫です。どちらの学年も「畑中黄金時代」の継承だけに拘らず、失敗を恐れず、新しい企画に挑戦して欲しいと思います。そして、70周年を共に経験してきた皆さんの力で、来年度は80周年に向けた新たなスタートを是非、切ってください。

さて、3年間私たちを熱く指導してくださった先生方、1年生の時から私たちは生活面、学習面でご指導をいただくことがたくさんありました。特に、家庭学習時間の少なさに対し、先生方は「毎日課題」を実施し、日々一人一人に目を配り、時にはくじけそうになる私たちを励まし続けてくださいました。昼休みや放課後にも、快く質問に答えてくださり、親身にご指導くださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。また、落ち込んだり悩んだりした時、静かに寄り添い話をよく聞き、励ましの言葉を掛けてくださったことがとても嬉しかったです。本当に有難うございました。

最後になりましたが、15年間私たちを育ててくださったお父さん、お母さん。中学生になり、生意気になって反抗したりしたこともあったと思います。そんな時でも、私たちを応援し続けてくれました。それは私たちにとって精神的な支えであり、自信が生まれるきっかけでもありました。いつもは恥ずかしくて言える機会がないので、この場をお借りして感謝の気持ちを述べたいと思います。「有難うございました。」まだまだ未熟な故、これからも迷惑はたくさん掛けてしまうと思いますが、どうかよろしくお祈りします。

これから私たちはそれぞれの夢に向かって歩いていきます。この歴史と伝統ある畑野中学校で卒業できることを誇りに思い、この地で学んだことをこれからにつなげていこうと思います。皆さん、今まで本当に有難うございました。

最後に、畑野中学校の益々の発展を心からお祈り申し上げ、答辞といたします。

